

COMV

2024
4月号
vol. 285

Communication & Volunteer

特集

福祉のカタチ

何気ない日常の安らぎ、心地よさを 病院に届ける人たちを支える

特定非営利活動法人 日本病院ボランティア協会

⑥ 多文化交流会『何でも聞いてや!』ふり返し報告会
～お互いの話に耳を傾けることから始めよう～

⑦ 職員の教育や社会貢献活動を通じて
信頼で地域とつながる金融機関へ

大阪シティ信用金庫





入院病棟で、心が和むコーヒータイムを提供するボランティア



福祉のカタチ

何気ない日常の安らぎ、心地よさを 病院に届ける人たちを支える

特定非営利活動法人 日本病院ボランティア協会

「福祉」という言葉の意味を調べると、多くの辞書では「幸福」や「幸せ」と表現されています。でも、「実際にはどういふことなのか漠然としていて分からない」と感じている人や、行政の福祉サービスに関連することと理解している人も多いのではないのでしょうか。

今年度の『COMVO』では、地域などで多様な課題に取り組む団体にスポットを当て、それぞれの活動や想いを通じて『福祉のカタチ』を『見える化』し、皆さんとともに福祉についての理解を深めていきたいと思います。

今号では、病院でのボランティア活動に日本で初めて取り組み、活動開始から今年で50年を迎えた『特定非営利活動法人 日本病院ボランティア協会』をご紹介します。病院内のさまざまなシーンで患者に寄り添い、心の安らぎとなるサポート活動を行う病院ボランティアたちを、縁の下力持ちとして支える取組みをご紹介します。

日本全国に広がった 病院ボランティアの歴史

『特定非営利活動法人 日本病院ボランティア協会』（以下、日本病院ボランティア協会）の活動がスタートしたのは1962年のこと。その数年前、創始者であり初代会長でもある広瀬夫佐子医師（以下、広瀬氏）がアメリカ視察に出かけた際、病院でボランティアがいきいきと活動している姿に感銘を受けたことに端を発します。広瀬氏は帰国後、早速ボランティアを受け入れてくれる病院探しに奔走。その頃、淀川区に開設された『淀川キリスト教病院』の初代院長や総婦長に熱意が伝わり、広瀬氏と3



名古屋のボランティアグループによる、救命手当の研修会

人の美容師による日本で初めての病院ボランティア活動が始まりました。

当時はまだボランティアという言葉さえ馴染みのない時代でしたが、広瀬氏は近隣の病院に対しても、根気強くボランティア受入れの働きかけを続行。その取組みが少しずつ実り、1970年には11病院が参加しての病院ボランティア連絡会を結成しました。さらに1974年には34病院の加盟を得て『日本病院ボランティア協会』を発足。病院ボランティアの発展と推進をめざし、ボランティアグループの連合組織として活動を開始します。そして2000年にはNPO法人格を取得。現在では大阪府下37病院を筆頭に、北海道から沖縄まで全国で159病院が加盟する協会となりました。

患者の気持ちに寄り添い 病院での時間を和やかに

病院ボランティアの活動場所は、外来受付、入院病棟、作業室、屋外などさまざままで、活動内容も多岐にわたります（※詳しくはP4で紹介）。

「病院ボランティアは、医療スタッフのように特別な資格や経験がなくても必要とされることが多いですよ。」

そう話すのは、『日本病院ボランティア協会』の理事長を務める宇野喜代子



工作を楽しみながら、こどもを見守り

さん（以下、宇野さん）です。治療だけに専念するのではなく、自分らしく生きがいを感じながら病気と向き合うことが大切に考えられるようになった現在。

「患者や家族の気持ちを和らげ、病院を明るく快適に」と願うボランティアの働きは、多くの病院で歓迎されているのだと言います。

『日本病院ボランティア協会』には現在、16人の運営スタッフが在籍しており、全員が現役の病院ボランティアです。宇野さんは緩和ホスピス病棟でのサポートを、宇野さんと共に



車椅子を一台ずつ丁寧にメンテナンス

取材に応じてくれた松本勉さん（以下、松本さん）は病院内の車椅子の整備を行っています。

「病院にいくと、患者さんや患者さんの家族から「気軽に話しやすい」とよく言われます。特に入院されている患者さんは、漠然とした不安や社会からの孤立感が大きいので、ボランティアが街の様子を伝えたり、何気ない日常会話をしたりすることで、新鮮な空気や社会性を感じることができるとですね」と、宇野さん。

「ボランティアをしている私たちも、病院で患者さんやボランティア仲間と過ごす時間が楽しいんです。私は会社の定年退職後に、新しい世界がまたひとつ広がったと感じています」と、宇野さんの言葉に頷きながら、松本さんにもこやかに話します。

ボランティアの活動を 環境づくりからサポート

『日本病院ボランティア協会』の大きな役割は、ボランティアが活動しやすいように、病院側が環境を整えるサポートを行うことです。これからボランティアを受け入れたいと考えている病院と対話しながら、どんなボランティアが必要か？どのようにボランティアグループやスタッフを育成していくか？などの方向性を固めていきます。

「各病院には、病院とボランティアをつなぎ、調和が取れる人として、コーディネーターを置いていただくようお願いしています。中間に立つ人がいるとお互いに意見が出しやすくなり、ボラン



ホスピス・緩和ケアについての研修会



総会で行われた『1000時間表彰』

ティアの新たなニーズを見つけることもできますから」と、宇野さん。各病院のコーディネーターから相談が寄せられることも多く、ひとつひとつに耳を傾け、対応していくことも宇野さんたちの大切な役割です。

『日本病院ボランティア協会』では、ほかに、ボランティアグループの情報交換の場としてオンライン交流会を開催。各病院ボランティアグループの状況や、協会に寄せられた声は、機関紙で全国の会員に発信します。また『ホスピス・緩和ケアボランティア研修会』『災害時の病院ボランティア活動』など、ボランティアの関心が高いテーマを扱った研修会も開催しています。さらに、ボランティア活動を長きにわたり1000時間行った人には表彰を行い、賞状と記念

バッジを贈呈。この『1000時間表彰』は、これまでに5200人以上のボランティアが受賞しました。

コロナ後の変化の中で 新しいスタートを

2020年1月に日本で初めて確認された新型コロナウイルス感染症は、昨年5月の5類感染症移行までの3年以上にわたり、私たちの生活に暗い影を落として続けました。中でも病院は感染者の治療と徹底した院内感染予防対策に追われ、通常通りの機能は大きく奪われました。

「ボランティアも院内には入れず、長期間、再開の目途が立たないうちに高齢で活動をやめてしまった人も多くいます。ようやくボランティア受入れを再開する病院が増えてきましたが、そんな人たちの後継者をいかに育てていくかが今の課題です」と、宇野さん。

「コロナ禍に入職された看護師さんなどは病院ボランティアの活動を見たことがなく、ボランティアは何をするの？必要なんだろうか？と感じている人もいます。病院側も活動する側もボランティアとは何なのか？を改め

て見つめ直す必要があるんじゃないかな」と、松本さんは、活動再開の時期を迎えた今こそ、その機会だと話します。

「これまでは、病院職員、コーディネーター、ボランティアと、協会内での横のつながりに力を注いできました。でも、これからの病院ボランティアのあり方について、それぞれの立場で悩んでいる現実があります。協会としてその答えを探っていくために、今後は病院やその関連で活動するNPO法人など、他団体との連携にも取り組んでいきます。そしてさまざまな活動を学びながら、病院ボランティアの活性化につなげたいと思っています」と、宇野さん。

50年間で培った揺るがない土台を強みに、時代の変化を受け止めながら、『日本病院ボランティア協会』は、次代に向けて新たな歩を踏み出そうとしています。



日本病院ボランティア協会 宇野喜代子さん(右)、松本勉さん(左)

特定非営利活動法人 日本病院ボランティア協会
TEL&FAX: 06-6809-6506
Eメール nhva@cronos.ocn.ne.jp
<https://www.nhva.com>

病院で患者の気持ちとニーズに寄り添う 病院ボランティアの始め方

病院で、患者やその家族が快適に、潤い豊かに過ごせるよう援助する
病院ボランティア。

さまざまな出会いや感動を体験できる有意義な活動に、皆さんも
参加してみませんか？



どんな活動内容があるの？

病院のニーズによって
活動内容は異なります
が、次のようなものが
あります。



外来で…

院内案内、車いす介助、通訳、代筆、見守り など

病棟で…

話し相手、身辺介助、おつかい、散歩付添い など

小児科で…

読み聞かせ、学習指導、イベントのお手伝い など

作業室で…

小物・衛生材料づくり、封筒へのシール貼り など

公共スペースで…

図書室の管理、移動図書、カフェの開催 など

ほかにも…

花壇の手入れ、車椅子の整備、季節行事のお手伝い など

活動に必要な条件は？

特に資格や経験は必要ありません。相手を思いやる
やさしさ、そして何事にも積極的に取り組む気持ちと
責任感があれば活動に参加できます。

ただし病院によっては、参加にあたって身体検査(ウイ
ルス感染症検査)や研修の受講などを設けているとこ
ろもあります。

活動できる病院を探すには？

近年では、インターネットのホームページ上でボラン
ティア募集について記載している病院が多くなってい
ます。また、年度の代わる3月～4月頃に募集を行う病
院もあります。活動を希望する病院のホームページを
チェックし、直接問い合わせてみましょう。

〇〇病院 ボランティア 検索



☆『日本病院ボランティア協会』のホームページでは、加盟病院の
一覧(会員一覧)を閲覧することができます。

また、病院ボランティアの内容についてなど、知りたいことがあれば、
電話やメールで相談してみましょう。

日本病院ボランティア協会
<https://www.nhva.com> TEL・FAX 06-6809-6506
Eメール nhva@cronos.ocn.ne.jp

病院ボランティア 活動のPOINT

- 患者、家族の気持ちを尊重し、寄り添うことを大切に
- 病院スタッフの専門性を尊重し、侵害しないようにしよう
- 患者のプライバシーなどは決して他言しない(守秘義務)
- 常に自分の健康状態にも気をつけよう(感染予防)
- ボランティアであることに誇りと自覚を持って行動しよう



監修協力：特定非営利活動法人 日本病院ボランティア協会

「保険について考えた時」そんな時には…

- こんな保険ってあるのかな？
- 今入ってる保険を見直したい
- 満期案内が届いた。
保険料を比較してみたい



保険相談してみませんか？



保険の相談窓口

平日／9:00～17:00

☎06-6252-4520

E-mail insshima@plum.ocn.ne.jp

来店スペースも
あります。

取扱保険会社

- 損害保険会社 = 7社
- 生命保険会社 = 14社



取扱保険種類

- 損害保険 = 自動車・火災・傷害・賠償・旅行 等
- 生命保険 = 死亡・医療・がん・年金・学資 等

〈社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 提携代理店〉

株式会社 島本保険事務所

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町4丁目1-3

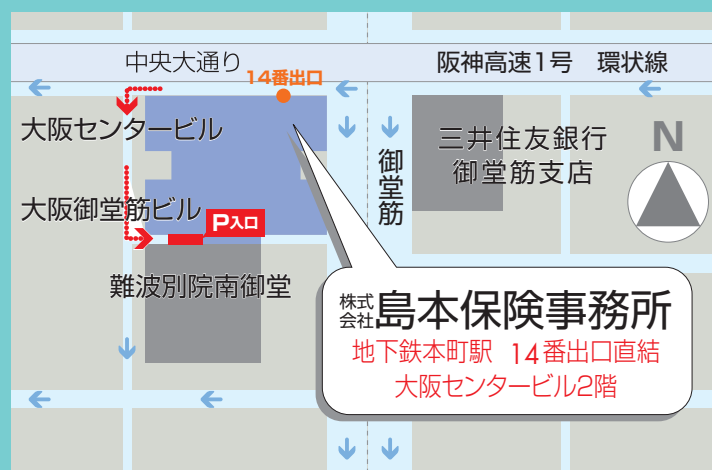
大阪センタービル2F

ホームページ <https://www.shj.co.jp/>

島本保険

検索

クリック



多文化交流会 『何でも聞いてや!』 ふり返し報告会

『お互いの話に耳を傾けることから始めよう』

それぞれの文化を
尊重できる
地域社会をめざして

多文化共生の実現をめざして取り組んでいます。

『公益財団法人 大阪国際交流センター』（以下、大阪国際交流センター）は、外国人住民と地域の住民がともに地域の「員」として暮らすことができる

大阪市内に住む外国人は令和5年9月末時点で16万人を超えており、その後も増加傾向にあります。そのような背景があることから、大阪市社会福祉協議会としても、日本人住民と外国人住民の交流による、それぞれの文化や居住ルール等の相互理解を深めることを目的に、令和3年度から大阪国際交流センターと共催で多文化交流会を開催。

大阪市内の各区で地域住民と外国人住民が交流できる場を創出し、日本で暮らす外国人住民から、生活習慣や文化の違いにより生じるさまざまな問題やそれらをどう乗り越えてきたかなどを実際に聴くことで、お互いに顔の見える関係を構築してきました。

今回、大阪国際交流センターを舞台に開催した「ふり返し報告会」は、令和5年度に各区で開催した多文化交流会の担当者や外国人スピーカーを招き、新たな気づきやその成果などを共有する活動報告の場となりました。

交流して、
お互いを知ることから
始めてみよう

今回の「ふり返し報告会」は西成区・都島区・平野区・浪速区から、各地域の担当者と外国人スピーカーが登壇。それぞれ住んでいる外国人の国籍もさまざまで、担当者からは「トラブルが起きるような近所付き合いすら無く、まずは視野に入れる、意識的に関わっていくことが大事」などの報告がありました。

外国人スピーカーからは「母国では地震が無いから、防災のためにも日頃から地域の人と関係性を築いておきたい」などの話がありました。

各区の活動報告後には、4区それぞれが会場内に交流スペースを設け、参加者もつと話を聞きたいと思った区のスぺースに参加するフリーディスカッション形式で交流。

参加者からは、「意識せずとも、このもの時から多文化が当たり前と思えるような環境を地域でつくってきたい。」「接点を持つのが難しくても、外国料理の飲食店に行つて雰囲気を感じる



興味・関心のある区のスペースへ移動して意見交換

ことでも理解を深められると思う」など、多くの意見が出ました。

今回のふり返し報告会では、多様な文化を受け入れることのできる体制・環境をめざし、地域住民も外国人住民も顔の見える関係性や暮らしやすい地域をつくるため、まずは「コミュニケーションに挑戦することがなによりも重要であることが改めて分かりました。

大阪市ボランティア・市民活動センター
TEL:06-6765-4041 FAX:06-6765-5618
Email:ocvac@osaka-sishakyo.jp

職員の教育や社会貢献活動を通じて

信頼で地域とつながる金融機関へ

大阪シティ信用金庫

今年で10年目を迎えた

『視覚障がい者対応研修』

2月9日(金)、大阪シティ信用金庫本店にて、新入職員43人に向けて『第10回視覚障がい者対応研修』が実施されました。講師として『大阪市福祉教育語



声かけ。を意識しながら歩行介助を体験

りの会』から鈴木昭二さん・山本美恵子さん(以下、鈴木さん・山本さん)が登場。視覚障がい者の思いや生活で不便に感じていることなどを学びました。

初めに鈴木さんから、視力を失った時のことや、これまでに歩んできた半生についてのスピーチがあり、当事者から直接語られる言葉が、視覚障がいのある人についての理解をより深めてくれました。

続いて山本さんから、街や金融機関での適切な対応方法について実演を交えた説明があり、新入職員の皆さんは真剣にメモを取っていました。また、視覚障がいのある人それぞれが求めることは違い、一人ひとりに合わせた支援をするためには丁寧な声かけが必要であると学びました。その後、参加者の中から代表者が歩行介助を体験。緊張しながらも、熱心に取り組む姿が印象的で、視覚障がいのある人について、さまざまな気づきをもたらしてくれる研修となりました。

記事作成:黒柳遥(実習生)

息長く、継続的に

活動することを大切に

『大阪シティ信用金庫』では、安心して暮らしやすい地域社会づくりに貢献できる人材の育成を目的に、今回の研修のほか、『認知症サポーター養成講座』を2011年から実施。およそ650人の職員が各店舗で認知症サポーターとして寄与し、認知症の人にやさしい取組みを行う企業として、2020年には大阪市から『オレンジパートナー』の認定を受けました。

さらに店舗・施設をバリアフリーな設計にするともに、軟骨伝導聴覚補助キット、音声ガイド、点字による取引記録明細書などを導入。障がいのある人すべてに寄り添うことのできる金融機関をめざしています。

「多くの職員が、駅などでも困っている方を見かけた時は、自然に声をかけられるようになったのではないでしょう。現在の取組みを息長く、継続的に続けて行くことが何より大事だと感じて

います」と、受講経験のある職員。

また、約50年間、毎年末に行っている『大阪シティ信金 愛の募金基金』街頭募金活動をはじめ、さまざまな企業や外部機関と連携して、店頭での古書等回収による共同募金会への募金活動や売上の部を大阪ユニセフ協会に寄付する支援自動販売機の運営などを実施。各支店で地域のお祭りやイベントに参加するなど、地元大阪の活性化をけん引してくれる地域密着の金融機関としての期待も高まるばかりです。

※認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支えていく応援者



街頭募金活動の様子

大阪シティ信用金庫 総務部広報室

TEL:06-6201-2833 FAX:06-6201-2838

<https://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

※令和5年度大阪市ボランティア活動振興基金
運営継続支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題に取り組む活動の継続を目的とした団体の支援

生活者としての外国人に日本語学習で寄り添う

つるはしにほんごきょうしつ

『つるはしにほんごきょうしつ』(以下、教室)は、月に2回、ボランティアの人たちが運営する、日本で暮らす外国人のために開かれた日本語学習の場です。

「5年前の入管法改正で、日本で働く外国人が多くなりました。しかし彼らの労働力に頼る一方で、生活者としての支援制度は整っていません。そんな中、個人として日本語のサポートならできるのではないか、と思って活動を始めたんです。」

そう話すのは、代表の劉成道^{りゅうせいどう}さん。3年前にスタートした教室は、SNSでの発信などで徐々に参加者が増え、これまで100人以上の学習者やボランティアが足を運んできました。

教室での学習は、マン・ツー・マンでのフリートークが中心。多くの学習者は職場などで日本人と日常会話をする機会がほとんどなく、教室での会話はとても貴重な学びです。また時にはバーベキューやハイキングなども行い、学習者たちとの親睦を深めています。



教室には、学習者とボランティアの明るく元気な声が響きます

「どんなことでも話しやすい雰囲気づくりを大切に、日本語を学ぶだけの場ではなく、皆さんの居場所になればいいなと思っています」と、メンバーの合田佳世さん。さまざまな出会いとともに、教室はますます楽しくなっていくそうです。

つるはしにほんごきょうしつ

Eメール tsuruhashinihongo@gmail.com

<https://tsuruhashinihongo.wixsite.com/japanese>

情報マーケット P9④にボランティア情報を掲載

おいでよ！ 地域のこどもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がるこどもの居場所づくりの取組みをご紹介します。

あなやはんを食べて元気いっぱい！

いごも朝食堂(東淀川区)

淡路駅から10分ほどのところで開催している『いごも朝食堂』は、『NPO法人女性と子育て支援グループ・pokkapoka』が運営する、朝ごはんを食べられる地域の居場所です。

体を立ち上げ、朝食堂の開催は今年で7年目を迎えました。

朝食は自分で取るビュッフェ方式で、机の上には、おにぎり、トースト、パスタやそうめんなどが並びます。

「ここは第二の家として、ふらっとおしゃべりをしに来るだけでも大丈夫なんです」と、渡邊さん。朝の8時前には、すでに10人ほどのこどもたちが集まって、みんなであいまいい食卓を囲む姿が。そしてお腹がいっぱいになると、小学校へ元気に出発していきます。渡邊さんは「家ではあまり食べないという子もみんなで顔を合わせながらだと、本当によく食べます。朝ごはんを食べると力が出ますよね」と、こどもたちを見送りながら微笑みました。

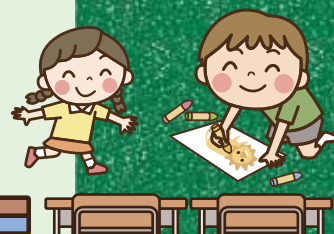


寒い朝もみんなで食べてぽかぽか

こども朝食堂

TEL:06-6370-4138

Eメール pokkapoka@midwife383.com



情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから 団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

③「南方」駅前ゴミ拾いに参加しませんか?

淀川コネクトクラブ

<https://yodocone.jimdofree.com/>

週末の飲み屋街をゴミ拾いしていきます。
町がキレイになり、朝活や朝の運動にもなります!

日 程 毎週土曜日・日曜日8:00~9:00

場 所 阪急南方駅(淀川区西中島3-17-3)

人数・条件 どなたでも

申込方法 Eメール

問合せ▶ TEL/090-5158-0507

Eメール k.rametoku57@gmail.com



①誰でものれる小さなヨット、体験乗艇会ボランティア募集

セーラービリティ大阪

<https://www.access-dinghy.com/>

北港マリーナでのんびりボランティア活動をしてみませんか?ヨットの準備、乗艇の案内、片付けなどのお手伝い。手待ち時間に乗ることもできますよ。

日 程 およそ4月~11月末までの土日
※詳細はHPに記載

場 所 大阪北港マリーナ(此花区常吉2-13-1)
大阪シティバス
[大阪駅前停留所]59系統から「北港ヨットハーバー」行き乗車 約50分
[西九条停留所]59系統から「北港ヨットハーバー」行き乗車 約25分

人数・条件 高校生以上

申込方法 電話(ご連絡の際「ボランティアの件で」とお伝えください)

問合せ▶ TEL/090-3166-8993 (担当:藤本)



④地域に暮らす外国人へ 日本語サポートボランティア

つるはしにほんごきょうしつ

<https://tsuruhashinihongo.wixsite.com/japanese>

地域に暮らす外国人の方々へ、日本語勉強のお手伝いをしています。
一緒に日本語学習をサポートいただけるボランティアの方、募集しています。

日 程 毎月第2・第4日曜日 11:00~12:30

場 所 クラウンビル(天王寺区小橋町3-9)
地下鉄「鶴橋」駅1番出口から徒歩5分
JR「鶴橋」駅から徒歩10分

人数・条件 定員2人(先着順)
年会費:一般4,000円、学生・未成年2,000円

申込方法 Eメール、HP

問合せ▶ Eメール tsuruhashinihongo@gmail.com (担当:劉)



②「1000人文化祭」のボランティアスタッフを募集

特定非営利活動法人 希望の居場所

<http://1000c.jp>

万博出展が内定。「共創」を目的にプレゼンショーの1000人文化祭を開催。当日の会場内でのお手伝いをお願いします。

日 程 4/6(土) 11:00~18:00
場 所 大阪市立住まい情報センターホール(北区天神橋6-4-20)
地下鉄「天神橋筋6丁目」駅3番出口から直結
JR「天満」駅から北へ徒歩8分

人数・条件 どなたでも 定員:10人(先着順)
交通費として1,000円支給あり

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・HP

問合せ▶ 〒534-0021大阪市都島区都島本通3-26-24

TEL/06-7175-4748 FAX/06-7175-1099

Eメール 1000c.eikan@gmail.com (担当:前田)



ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1 興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2 活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3 約束やルールは必ず守ろう!

Point 4 相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



⑨こどもの居場所シンポジウム2024「地域とともにあるこどもの居場所を考える」

天王寺区社会福祉協議会

<http://yuuai.org/>

天王寺区のこどもの居場所活動について知ってもらうこと、また、地域全体でこどもを育てる社会をめざして、今年度もシンポジウムを開催します。

日 程 3/23(土) 14:30～16:30(開場14:00)

場 所 天王寺区民センターホール(天王寺区生玉寺町7-57)
地下鉄「四天王寺前」駅1・2番出口から徒歩2分

人数・条件 どなたでも 定員:100人(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・来所

問合せ ▶ 〒543-0074 天王寺区六万休町5-26
TEL/06-6774-3377 FAX/06-6774-3399

⑩現役世代ボランティア受け入れ力アップ講座

社会福祉法人 大阪ボランティア協会

<https://osakavol.org/>

楽しさいっぱいの活動を編み出して、現役世代をどんどん巻き込む実践者のお話から、これからのボランティア受け入れに生かせるヒントを探っていきませんか?

日 程 3/28(木) 13:00～15:00

場 所 オンライン開催

人数・条件 ボランティア受け入れに携わる担当者等
定員:30人(先着順) 参加費:無料

申込方法 HP https://osakavol.org/lecture/professional/vco_20240328.html
締切3/26(火)

問合せ ▶ TEL/06-6809-4901 Eメール office@osakavol.org

⑪SDGs LABO 2024 わかものアイデアコンテスト

クレオ大阪西

<https://creo-osaka.or.jp/west/>

未来の大阪を持続可能で住みやすいまちにするための、ゴール5「ジェンダー平等の実現」を含む、斬新でフレッシュな創意あふれるアイデアの発表会です。見ている人にも刺激がいっぱい!ぜひご来場ください。

日 程 3/23(土) 14:00～16:30

場 所 クレオ大阪西(此花区西九条6-1-20)
JR・阪神線「西九条」駅から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 定員:200人(先着順)
参加費:無料

申込方法 電話・HP

問合せ ▶ TEL/06-6460-7800 FAX/06-6460-9630

⑫「御堂筋ふれあいバザー」開催!

Daigasグループ「小さな灯」運動/大阪ガスネットワーク(株)

<https://network.osakagas.co.jp/effort/index.html>

本バザーは障がい者の社会参加を目的に授産製品の販売などを実施。4月のテーマはダイバーシティ!様々な疑似体験を通じて障がい者への理解を深めよう。

日 程 4/16(火)～19(金)
5/14(火)～17(金) 各11:00～15:00

場 所 大阪ガス 本社ガスビル(御堂筋沿い) (中央区平野町4-1-2)
地下鉄「淀屋橋」駅13番出口から南へ徒歩3分

人数・条件 どなたでも

申込方法 申込不要

問合せ ▶ TEL/06-6205-4545
Eメール tomoshihi@osakagas.co.jp (担当:武田、長瀬)

⑤シニアの「街歩きイベント」のサポートをしてくださる方を募集します。

NPO法人「老いの工学研究所」

<https://www.oikohken.or.jp/>

イベント「健脚まちあるき」を、月に1度 開催しています。参加者はシニア世代の方々。資料の配布や街歩きに同行していただくお仕事です。

日 程 毎月第2土曜日 10:00～12:00

場 所 WAKITA藤村御堂筋ビル 地下1階(中央区伏見町4-2-14)
地下鉄「淀屋橋」駅13番出口からすぐ

人数・条件 どなたでも 定員:3人

申込方法 電話、Eメール

問合せ ▶ TEL/0120-955-417 Eメール info@highness-co.jp

⑥いくPAの図書室～ふくろうの森～ 運営ボランティア

NPO法人 IKUNO・多文化ふらっと

<http://www.ikunotabunkaflat.org/>

図書室ふくろうの森はみんなのためのオープンスペースです。開室、読み聞かせ、本の整理・展示などを通して、一緒に居場所づくりをしませんか?

日 程 毎週火・金・土・日 各10:00～17:00の間の2～3時間

場 所 いくのコーライズパークA棟1階(生野区桃谷5-5-37)
JR「桃谷」駅から徒歩15分
JR「鶴橋」駅から徒歩20分

人数・条件 18歳以上 交通費あり(往復上限1,000円)

申込方法 電話・Eメール

問合せ ▶ TEL/06-6741-1123 Eメール info@ikunotabunkaflat.org

⑦食品支援ボランティア募集

特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン

<https://www.gnjp.org/work/domestic/gohanvolunteer/>

ひとり親家庭への食品支援事業「グッドごはん」の活動に参加してみませんか?活動内容は倉庫での食品準備と配付場所での食品お渡しです。

日 程 毎月複数回実施しています。
募集日時・場所はHPでご確認ください。

場 所 HPでご確認ください。

人数・条件 定員:1～4人(先着順) ※日程により変動あり
中学生は保護者同伴で参加可
高校生は保護者の同意書持参で1人での参加可

申込方法 Eメール

問合せ ▶ Eメール gohan-volunteer@gnjp.org

⑧囲碁同好会

大成小学校囲碁クラブ

囲碁を何局でも好きなだけ対戦出来ます。初心者大歓迎。
月1回プロ棋士の講座及び対戦が可能(1局のみ)。

日 程 毎週土曜日18:00～21:00

場 所 大阪市立大成小学校内 多目的室(東成区大今里西3-2-62)
地下鉄「今里」駅から徒歩6～8分

人数・条件 どなたでも 参加費:月額1,000円(入会金なし)

申込方法 Eメール

問合せ ▶ Eメール htakondo@yahoo.co.jp

⑮第5回 あったか演劇甲子園大会

NPO法人 あったか演劇研究会

<http://www.attakafamily.com>

社会の課題をテーマにした15分程の作品を1チーム3名以上で創作上演して頂ける団体を募集。個人での参加もOK。出演に向けての演劇レッスンも開催中。

※詳細はあったかファミリー事務局まで

日程 予選会:6/23(日)
本選会:7/27(土) 各11:30~16:30(予定)

場所 予選会:伊丹市スワンホール 多目的ホール(兵庫県伊丹市昆陽池2-1)
本選会:高槻市立生涯学習センター(高槻市桃園町2-1)

人数・条件 どなたでも 定員:200人
予選会:700円 本選会:1,000円
※小学生まで無料

申込方法 電話・FAX・Eメール 予選会応募締切:5/8(水)

問合せ ▶ TEL/06-6394-5137 FAX/06-6394-5111
Eメール mail@attakafamily.com



⑬大阪市ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座

クレオ大阪子育て館

<https://creo-osaka.or.jp/north>

子どもの事故防止、心の発達など大阪市ファミリー・サポート・センター提供会員に必要な知識を学びます。地域で子育てのお手伝いをしませんか?

日程 4/20・27、5/11・18、6/1・8 各土曜日 全6回
10:30~16:15(日により異なる)

場所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄「天神橋筋六丁目」3番出口から連絡
JR「天満」駅から北へ徒歩約10分

人数・条件 大阪市在住で19歳以上の方・提供会員として登録する意思のある方
定員:30人(多数抽選) 参加費:無料
※一時保育有(無料・定員有・要事前申込4/10締切)
対象:3か月~小学校3年生

申込方法 電話・FAX・HP・来所 締切:4/10(水)

問合せ ▶ 〒530-0041 北区天神橋6-4-20 7階
TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277 Eメール info@osaka-kosodate.net



⑯第36回 地域福祉を支援する「わかば基金」

NHK厚生文化事業団

<https://www.npwo.or.jp>

「わかば基金」は、地域に根ざした福祉活動を展開しているNPOやボランティアグループが、活動の輪を広げるための支援をしています。

助成対象 ①支援金部門:1グループにつき、最高50万円(20グループほどを予定)
対象:国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ
②PC・モバイル端末購入支援部門:1グループにつき、最高10万円(30グループを予定)
対象:パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障害者に役立ち、活動の充実を図れるグループ

申請方法 申請書に必要事項を記入し、提出書類を添付して郵送
※申請書はHPよりダウンロード

応募締切 4/26(金)必着 ※郵送のみ受付

問合せ ▶ 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
TEL/03-3476-5955 フォーム:<https://www.npwo.or.jp/contact>

⑭子ども~大人まで楽しめる天文教室(太陽、恒星を学ぼう)

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

お昼に見える太陽と夜に見える恒星を学びます

日程 4月27日(土) 14:00~16:00

場所 大阪市立住吉区民センター(住吉区南住吉3-15-56)
南海線「沢ノ町」駅から東へ徒歩5分
JR「我孫子町」駅から西へ徒歩10分

人数・条件 小学4年生以上~大人 定員:20人(多数抽選)
参加費:無料

申込方法 HP 締切:4/25(木) 17:00

問合せ ▶ TEL/090-8121-6929 Eメール k337yjunamg@gmail.com



情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
例:2024年5月15日発行号(6月号)に掲載希望の場合は2024年3月末日まで



おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

オリジナルサコッシュをプレゼント!!

いつも情報誌『COMVO』をご愛読いただきありがとうございます。ごぞいます。

P.14上段の読者アンケートにご協力いただいた皆さまの中から抽選で毎号3人に、『COMVO』オリジナルサコッシュをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、FAX、EメールまたはQRコードからお送りください(P.14参照)

両面ポケット付き!!
肩がけで便利に使える
小型バッグ

縦220×横170mm



NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリリーススタイルでお届けします。

地域の居場所になってもらえるように

NPO法人 よろづ園

NPO法人『よろづ園』は、2018年に、地域の居場所になってもらえるように設立しました。

現在活動は『こども食堂』を中心に、お母さんたちの憩いの場としての『ママカフェ』や、より良く子育てが出来るように年に数回お母さんたちの子育ての勉強会などを開催しています。

設立当初は、いかに子どもたちに笑顔で帰ってもらえるかを試行錯誤しながらの開催でしたが、回を重ねるうちに徐々に賑やかになっていき、常時100食以上のご注文を受けるようになり、子どもたちだけでなくお母さん達にも認知されるようになっていきました。

またそこでお母さんたちの話を聴いていると、やはり日々の子育てに疲れている方が多くおられ、子どもたちだけでなくお母さんたちの憩いの場も必要だということで、平日の昼間に『ママカフェ』も開催。子どもたちだけでなく、お母さんの居場所にもなっていけ

るように活動しています。

また、この繋がりを生かして、穏やかに子育てが出来るにはどのように考え、接すればよいかの勉強会なども開催し、幅広い支援を目指して活動しています。

今後、更に多くの世代に認知して頂けるように活動の幅を広げていければと思っています。



みんなで集まって、子育てを考える勉強会

大阪市ボランティア・市民活動センターでは

ペットボトルのキャップを集めています。

**※約1年間で回収されたキャップは、
約95,331個(286kg)になりました。
ご協力ありがとうございました。**

※令和5年1月～令和6年1月

◎大阪市立中央授産場に送られ、障がいのある人たちの仕事と収入確保に役立てられています。

※アルミ缶のプルタブも回収しています。

◎1kgにつき10円が、発展途上国のこどもたちのポリオワクチン代として寄付されます。

(キャップ430個で10円に、キャップ860個(20円)でポリオワクチン1人分になります。)

みんなの行動が、世界のこどもと地球の未来をつくります。
これからも、ご協力をよろしくお願いいたします。

細かく粉砕されたキャップは、リサイクル工場に運ばれ、新しく生まれ変わります。キャップは再生されて、ごみ入れなどの日用品、植木鉢などのプランター、バンパーなどの自動車部品、物入などの収納ケース、荷造り用のPPバンド、などの原料に再利用されます。

※ゴミとして焼却されると、キャップ430個で3150gものCO₂が排出されてしまいます。



大阪市ボランティア・市民活動センター入口横に回収ボックスを設置しています

学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.39

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

生徒や仲間とともに、心の豊かさを感じながら

僕は、高等学校進学を目指す中学生たちに学習支援を行う団体に所属しています。ここでは、社会的

に不利な立場にあることもたちに教育の機会を提供することを目指しています。2年前から、このような理念に感銘を受け、ボランティア活動に参加しました。

そして、こどもたちが様々な理由により高校進学を諦めている現状を知りました。そのため、ボランティア活動のとき、学習支援だけでなく、生徒の学習意欲を高め、自己肯定感を養うことを中心に



昨年末はボランティアメンバーと餅つきを企画しました!

して活動を行っています。生徒たちとのコミュニケーションや学習支援を通じて、彼らの成長や笑顔が見えることに魅力を感じました。また、他のボランティアメンバーと協力してイベントを企画し、生徒たちにとって特別な経験を提供することができるとは、素晴らしいことだと思っています。

僕はパソコンの操作やプログラミングも教えています。生徒たちがロボットを動かす瞬間の喜ぶ顔を見ることで、自分もやりがいを感じます。このような自分の力で少しでも社会に貢献できる喜びを感じながら、仲間と共に活動することは、心の豊かさをもたらしてくれます。

大阪教育大学 教育学部
江九樵 (こしやう きゅうしゅう)



プロフィール

所属団体: みんなで学ぶ教室
趣味: パソコンゲーム・ボルダリング
学年: 4年

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当: 泉・竹澤)

エントリーはこちら ▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO285号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2024(令和6)年4月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

街頭や店頭での募金活動を実施

当金庫は昭和50年以来、年末に府内主要駅前等で役職員による街頭募金活動を実施しています。令和5年12月の実施で48回目を迎え、お寄せいただいた浄財は店頭で受け付けた募金と合わせて、各自治体の福祉局や各新聞社の厚生文化事業団等へ寄託しています。

また、令和6年1月から全営業店の窓口で「令和6年能登半島地震」の義援金募金(送金受付または募金箱)を実施しています。今回の地震により被害を受けた皆さまが一日も早く平常の生活に戻られることを願うとともに、皆さまからの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。



街頭募金活動の様子



店頭に設置した募金箱

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)

■申込方法

下記まで問合せください

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

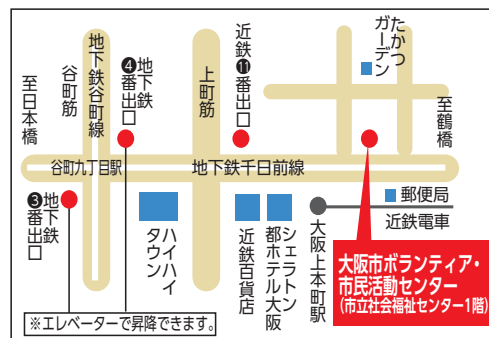
●開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2024年3月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援を進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668